

令和3年度

# 予算書

令和3年3月18日

## 資料目次

1 令和3年度予算編成について	-1・2-
2 収支予算書	
(1)収支予算書(正味財産増減予算書)	-3-
(2)収支予算内訳表(正味財産増減計算書内訳表)	-4-
(3)資金調達及び設備投資の見込みについて	-5-
3 事業計画書	
(1)令和3年度事業計画	-6・7・8・9-
(2)令和3年度「物品預託と払出」計画	-10-
(3)令和3年度「ボランティア活動」計画	-11-

公益社団法人 熊本善意銀行

## 令和3年度予算編成について

### —はじめに—

私たちの日常を一変させている新型コロナウイルスの感染拡大、県南部を中心に甚大な被害をもたらした7月豪雨など令和2年は多難な1年でした。新型コロナは昨年10月ごろから「第3波」の感染が全国で急速に拡大。今年1月には東京都、大阪府、福岡市など11都府県に緊急事態宣言が再発令されました。県も独自に緊急事態宣言を発令し、飲食店への営業時間短縮とともに県民への不要不急の外出・移動の自粛を要請。県内感染者数は減少傾向に転じて宣言は解除されましたが、3月15日現在の累計は3473人で、県は新たに「第4波」に備える対応方針も示しました。一方、65人が犠牲になった昨年7月豪雨では、仮設住宅などで仮住まいが続く被災者は1768世帯4069人(3月15日現在)に上り、生活再建が大きな課題になっています。さらに今年の4月で発生から5年目を迎える熊本地震でも公共インフラの復旧整備は進んでいますが、今なお192世帯494人が仮住まいを強いられています。

こうした中、当行は令和3年度も引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響を強く受けている方々や7月豪雨や熊本地震の被災者などをより一層支援し、少しでも元気な地域社会や福祉を取り戻していくお手伝いができればと考えています。熊本善意銀行は今年、「公益社団法人」になって10年の節目を迎えます。これまで運営できましたのも、ひとえに会員の皆様をはじめ、預託者やボランティアの方々のご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。今後も県民の皆様からお預かりした善意の労力、金銭などを、支援を必要とされている方々につなぐ「善意の架け橋」としての役割を果たしてまいります。本年度も皆様のさらなるご支援ご協力をお願い申し上げます。

### —概要と考え方—

新型コロナウイルスの感染拡大は、県内の経済にも暗い影を落としています。熊本日日新聞社と地方経済総合研究所による県内企業の経営者意識調査では、「令和2年中に新型コロナによって悪影響があった」との回答が8割を超えました。また「業況が下向き」と回答した企業が11年ぶりに半数を超え、その要因の約7割が新型コロナでした。一方、今年の県内景気については、昨年より「悪化する」「改善する」がともに3割強できっ抗。新型コロナ収束の期待と長期化への不安が入り混じっている結果になりました。

今月7日には新阿蘇大橋(南阿蘇村)が開通し、熊本地震で被災した阿蘇地

域の幹線道路の復旧はすべて完了しました。また、被災した熊本城の天守閣が完全復旧し、4月から公開されます。JR熊本駅ビルも同月に開業予定です。復興への取り組みが、県内の景気浮揚につながっていくことを願っております。

こうした中、当行の令和2年度の受取寄付金は、大口の預託があり予算を大きく上回る見込みです。一方で、新型コロナウイルス感染拡大に伴うクラウドファンディングや多発する自然災害の救援金など寄付の分散化の傾向もみられます。このため今年度は寄付金収入を前年度予算並みにする予算とし、公益目的事業会計と法人会計を合算した総経常収益を22,800千円（前年度予算22,400千円）、前年度予算比101.8%としました。また、総経常費用は23,777千円（同22,948千円）で、前年度予算比103.6%。総当期経常増減額は▲977千円（同▲548千円）です。

公益社団法人に求められる収支相償、公益事業比率、遊休財産保有制限の「財務3基準」を遵守し、より一層の安定的な運営を目指します。

地域に根差した社会福祉事業に取り組むため、法人会計と公益目的事業会計は以下のような予算にしました。

#### 《法人会計》

法人会計は熊本善意銀行の運営維持に必要な基本経費を賄う会計で、会員の皆様からの会費収入に支えられています。ただし、収入の半分以上を公益目的事業に充てるため、経常収益予算は8,250千円（前年度予算8,000千円）で前年度予算比103.1%にしました。

管理費は前期同様、費用を公益目的事業と法人事業に分配しました。支出合計は2,768千円（同2,816千円）で前年度予算比98.3%、当期経常増減額は5,482千円（同5,184千円）です。

#### 《公益目的事業会計》

公益目的事業会計は熊本善意銀行の社会福祉活動の根幹を表す会計で、収入は広く県民の方々から寄せられる「善意」の預託金です。これに会費収入の50%を加えて、経常収益予算は14,550千円（前年度予算14,400千円）とし、前年度予算比101.0%の予算にしました。

公益目的事業は従来の地域ボランティア活動支援や「小・中学校への車いす贈呈」、「100歳到達者の表彰」などをこれまで通り行っていきます。さらに障がい者福祉・児童福祉・高齢者福祉等の払い出し申請に基づく公益事業予算は、新聞・ラジオ・ホームページ等を活用して広く門戸を開き、ケースに応じて柔軟に対応していきたいと考えております。事業費は21,009千円（同20,132千円）で前年度予算比104.4%、当期経常増減額は▲6,459千円（同▲5,732千円）となり収入を上回る払い出しにしました。

令和3年度 収支予算書(正味財産増減予算書)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位 千円)

科 目	当年度	前年度(予算)	増減	前年度比
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①受取会費	16,500	16,000	500	103.1
②受取寄付金	6,300	6,400	-100	98.4
③為替差益	0	0	0	
④雑収益	0	0	0	
経常収益計	22,800	22,400	400	101.8
(2) 経常費用				
事業費(公益)	21,009	20,132	877	104.4
管理費(法人)	2,768	2,816	-48	98.3
経常費用計	23,777	22,948	829	103.6
当期経常増減額	-977	-548	-429	178.3
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-977	-548	-429	178.3
他会計振替額	-	-	-	
当期一般正味財産増減額	-977	-548	-429	178.3
一般正味財産期首残高	21,853	20,988	865	104.1
一般正味財産期末残高	20,876	20,440	436	102.1
II. 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III. 正味財産期末残高	20,876	20,440	436	102.1

※災害救援に関連する支出は、予算額を越えて執行することができる。

※一般正味財産期首残高の金額は予算策定時の推定値です。

令和3年度 収支予算内訳表(正味財産増減計算書内訳表)  
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位 千円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等 消去	合 計
I. 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取会費	8,250	8,250		16,500
受取会費	8,250	8,250		16,500
② 受取寄付金	6,300			6,300
受取寄付金	6,300			6,300
③ 為替差益	0	0		0
④ 雑収益	0	0		0
受取利息	0	0		0
経常収益計	14,550	8,250		22,800
(2) 経常費用				
事業費	21,009			21,009
役員報酬	299			299
給料手当	4,781			4,781
臨時雇用賃金	737			737
福利厚生費	219			219
旅費交通費	400			400
通信運搬費	594			594
消耗品費	1,000			1,000
印刷製本費	278			278
広告宣伝費	1,555			1,555
賃借料	921			921
会報発行費	484			484
支払助成金	4,828			4,828
障がい者福祉	889			889
児童福祉	2,409			2,409
災害見舞い助成	400			400
各種団体助成	1,130			1,130
チケット購入費	150			150
記念品購入費	2,182			2,182
新聞代・送料	371			371
車いす購入費	988			988
毛布購入費	688			688
減価償却費	368			368
為替差損	0			0
雑費	166			166
管理費		2,768		2,768
役員報酬		61		61
給料手当		979		979
臨時雇用賃金		151		151
福利厚生費		45		45
旅費交通費		82		82
通信運搬費		122		122
消耗品費		141		141
印刷製本費		57		57
広告宣伝費		318		318
賃借料		189		189
会報発行費		99		99
減価償却費		76		76
為替差損		0		0
雑費		448		448
経常費用計	21,009	2,768		23,777
当期経常増減額	-6,459	5,482		-977
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0		0
経常外収益	0	0		0
(2) 経常外費用	0	0		0
経常外費用	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-6,459	5,482		-977
他会計振替額	-	-		-
当期一般正味財産増減額	-6,459	5,482		-977
一般正味財産期首残高	-	-		21,853
一般正味財産期末残高	-	-		20,876
II. 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0		0
当期指定正味財産増減額	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0		0
III. 正味財産期末残高	-	-		20,876

## 資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

令和3年4月1日から令和4年3月31日中に資金調達の予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の内容	支出予定額（税込み）	資金調達方法
設備投資の予定はありません	—————	—————

# 令和3年度事業計画

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

令和3年度の事業計画は、前年度計画と同程度にしました。基本的な助成も例年通りの計画にし(1)障がい者や児童福祉、災害見舞助成、各種団体への助成(2)百歳を迎えたお年寄りや施設児童・交通遺児の進学・卒業祝い、学校への車いす寄贈などの物品助成一などの中核事業を引き続き推進していきます。新型コロナウイルス感染拡大で見合わせている登録ボランティア団体の活動の橋渡しについては、収束状況や県のリスクレベル等を見極めながら再開時期を判断します。よりきめ細やかな社会福祉貢献のため引き続き「善銀パートナー」を推進し、サポート体制の強化を図ります。

広報面では事業の活発化と公平性を保つために、新聞とラジオのほかホームページをより充実させ、啓発活動に力を入れていきます。

## 1、【公益目的事業】

地域社会が直面する問題の改善を目的として、事業を行う団体・個人に金銭助成や物品支援を行います。

「事業内容」	「備考」
<p>助成事業：公1事業</p> <p>① 障がい者福祉助成 (889 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい福祉施設等の商品販売促進へ助成</li> <li>・重症心身障がい児(者)クリスマス交流会へ助成</li> <li>・ダウン症児(者)の夏季療育訓練などに助成</li> </ul> <p>② 児童福祉助成 (2,409 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童福祉施設の夏季行事に助成 (963名 16施設)</li> <li>・ひとり親家庭等の入学祝に助成 (180名分)</li> <li>・グローバルジュニアドリーム事業 (5名分)</li> <li>※前年度も予算計上。新型コロナ感染拡大で中止になりました。</li> <li>・子ども食堂の食材購入などに助成</li> </ul> <p>③ 災害見舞助成 (400 千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害(火災・水害・地震等)に遭われた家族に見舞金を贈呈</li> </ul> <p>④ 各種団体の助成 (1,130 千円)</p> <p>ホームレス自立支援や熊本いのちの電話、令和2年7月豪雨や熊本地震被災者の支援団体、その他申請のあった地域福祉団体へ助成</p>	<p>前年度予算よりやや減額</p> <p>前年度予算より増額</p> <p>前年度予算と同額</p> <p>前年度予算より増額</p>

<p>物品助成：公1事業</p> <p>① チケット等配布（150千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者福祉施設、障がい者支援施設などで日常生活を送られている方々やひとり親家庭の方々に、心のゆとりを持ってもらうことを願って寄席などの入場券を贈呈します。</li> </ul> <p>② 敬老の日 百歳到達者に記念品贈呈等：第41回（2,090千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の満百歳を迎える方々に記念品を贈って長寿をお祝いするとともに、千代の園酒造預託の清酒「百歳万歳」も贈呈予定です。本年の対象者は約950名の見込みで、熊日輸送センター・熊日各販売センターの協力を得て、敬老の日前後に自宅や入所施設などにお届けします。</li> </ul>	<p>前年度予算より減額</p> <p>前年度予算より減額</p>
<p>郷土紙提供（371千円）：公1事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本県出身の青年海外協力隊員に郷土紙提供。（約20名）</li> </ul> <p>青年海外協力隊の要請により、世界各地の発展途上国で農業や技術、教育支援などを行っている熊本県出身の隊員たちに、激励の気持ちを込めて郷土紙を「熊日ビューアー」で提供します。 ※前年度は新型コロナ感染拡大で2月時点での派遣は1名です。</p>	<p>派遣する隊員が減って、前年度予算より減額</p>
<p>車いす贈呈（989千円）：公1事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、障がいを持つ児童・生徒には、養護学校から居住地にある普通校への就学を希望するケースが増えており、希望する小中学校に車いすを贈呈します。総合学習での車椅子体験にも使用されています。</li> </ul>	<p>小・中学校に約25台</p>
<p>毛布・タオル贈呈（688千円）：公1事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県下の被災者へお見舞いとして毛布を贈呈</li> <li>・障がい者スポーツ大会参加賞としてタオルを贈呈</li> </ul>	<p>前年度予算より減額</p>
<p>広告宣伝（1,555千円）：公1事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民、団体、企業の社会貢献活動を啓発、啓蒙するとともに、公益活動への関心を高めるため、善銀パートナー制度などについて下記の媒体を使用し、活動内容を広く告知します。</li> <li>・新聞広告の掲載、ラジオでの呼び掛け</li> <li>・ホームページの充実、その他チラシなどの製作</li> </ul>	<p>前年度予算とほぼ同額</p>

## 2、 [会務の運営]

総会、理事会、運営委員会等に関する事項

### ① 総会

- ・ 定時総会は、6月に開催。
- ・ 臨時総会は、必要に応じて開催。

### ② 理事会

- ・ 定時理事会は、4カ月を超える間隔で2回以上開催。
- ・ 臨時理事会は、定款14条のいずれかに該当する場合に開催。

### ③ 運営委員会

- ・ 運営委員会は、効果的な事業の推進を図ることを目的に、各種事業の整理・調整を行うため開催（年6回以上）。

### ④ 同種活動団体との連携

- ・ 全国善意銀行連絡協議会が行う総会や理事会に参加し、情報の共有や活動の参考にします。
- ※新型コロナウイルス感染拡大のため、前年度の総会は書面での決議となった。

## 3、 [その他の事業]

### ① ボランティア団体等の拡充

現在、38の団体・個人に年間を通してボランティア奉仕活動を行っていただいております。約600人のボランティアがおられますが、新型コロナウイルス感染拡大で高齢者施設などの訪問が制限されているため、昨年2月下旬から施設との仲介を見合わせています。再開後は引き続き、安全で安心なボランティア活動を行って頂くために、全国社会福祉協議会の「ボランティア活動保険」加入を推奨します。また、若手のボランティア登録の拡大にも努めます。

### ② 肢体不自由児デジタル写真展に共催

公益財団法人熊本県肢体不自由児協会が主催している「肢体不自由児デジタル写真展」を令和3年度も共催します。同写真展は県内の肢体不自由児を対象にデジタル写真を募集し、文化活動を促進するとともに、肢体不自由児に対する社会の

理解を啓発していくことを目的にしています。優秀作品に熊本善意銀行賞を授与し、特別支援学校やこども総合療育センター、希望する肢体不自由学級設置中学校などで巡回展示会を開催します。

③ 支援学校文化作品展の開催

支援学校の生徒の人格と個性を尊重し、可能性を最大限に伸ばせるように高校文化連盟特別支援学校専門部、一般財団法人熊本公德会とともに「支援学校文化作品展」を開催します。優秀作品に熊本善意銀行賞を授与します。

④ 障がい者福祉施設販売会（ほっと&ハートマーケット）の開催

一般財団法人熊本公德会とともに熊本市中央区上通町の「びふれす広場」で、障がい者福祉施設が作製している製品の販売会を実施します。年3回（6日間）の開催を予定しており、参加する障がい者福祉施設は無料で広場を利用して、物品販売を行います。

⑤ 預託の拡充

企業、個人からの預託は、新聞・ラジオのほかにホームページでも見ることができます。ホームページをさらに充実させるなど多様な広報活動を行い、預託の拡充に努めます。新規会員の募集は前記媒体でのPRと、機関紙やチラシ等で勧誘を図っていきます。また、引き続きサポーター制度である「善銀パートナー」への参加を呼び掛け、寄付文化の醸成に努めます。

# 令和3年度「物品の預託と払出」計画

令和3年4月1日～令和4年3月31日

令和3年度の「物品の預託と払出」計画は前年度並みと考えております

(前年度実績参照)

預託者	品名	施設名
九州ラーメン党	ラーメン1550杯	令和2年7月豪雨災害被災地へ
キンキラ劇団	DVD50枚	いこいの里など45施設へ
熊本キワニスクラブ	マスク17000枚	熊本県手をつなぐ育成会など13団体へ
熊本城稲荷神社	御神饌1箱	熊本天使園へ
ケセラ株式会社	微酸性電解水	慈愛園など3施設へ
株興農園	花の球根7240球	あさぎりホームなど20施設へ
瑞鷹株式会社	高濃度アルコール36本	熊本県障害児・者親の会連合会へ
清和ボランティアさつき会他14件	生活用品など41箱	和光苑など25施設・団体へ
中央ゴルフ(株)	おもちゃ・ジュース・米など265点	シオン園など11施設へ
永田建築他2件	洗剤3箱	清泉など3施設へ
山繕株式会社・株式会社ガイアラボ	石けん1箱	苓山寮へ
木下幸一さん	竹とんぼ500本	サポートセンター第一悠愛など13施設へ
後藤和枝さん	紙オムツ8パック	あさひ園など3施設へ
境勇祐さん他4件	玄米・米・もち米205 <sup>キロ</sup>	三気の家など12施設へ
匿名1件	ジュースなど飲料水50ケース	くまもと江津湖療育園通園センターなど10施設へ
芝原登さん	図書カード4500円分	交換・換金し福祉資金へ
増永化工他1件	未使用テレホンカード93枚	
季節料理ふじかわ他12件	未使用はがき・書き損じはがき1277枚	
竹下芳さん他8件	未使用切手84204円分	
預託者数161件(延べ272回)	使用済み切手70 <sup>キロ</sup>	換金し福祉資金へ

## 令和3年度「ボランティア活動」計画

令和3年4月1日～令和4年3月31日

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、施設訪問等のボランティアは令和2年2月下旬から仲介を見合わせています。再開については、収束状況や県のリスクレベル等を見極めながら判断する考えです。

(前年度実績参考)

奉仕する人・団体	ボランティアの種類	回数	奉仕先
田中知恵子	使用済み切手整理	17	換金のための仕分け作業
芝原登		11	
齊藤のり子		11	
総計		39	